

	用 語	意 味
あ	赤ちゃんへの気持ち質問票	育児の負担や赤ちゃんへのさまざまな気持ちを評価するために開発された自己記入式質問票です。エジンバラ産後うつ病自己質問票（EPDS）と併せて使用することにより、母親の育児不安や産後うつ病などを早期に発見し支援につなげます。
	一般診療所	診療所のうち歯科診療所を除いた施設をいいます。
	一般病床	病床の種別の1つで、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床をいいます。
	医薬分業	患者の診察、薬剤の処方を医師または歯科医師が行い、医師・歯科医師の処方箋に基づいて、薬剤の調剤および投与を薬剤師が行うという形で役割を分担することです。
	医療観察法	「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の略で、心神喪失または心神耗弱の状態（精神障がいのために善悪の区別がつかないなど、刑事責任を問えない状態）で、重大な他害行為（殺人、放火、強盗、強姦、強制わいせつ、傷害）を行った人に対して、適切な医療を提供し、社会復帰を促進することを目的とした法律です。
	医療機関	医療法で定められた「医療提供施設」（病院、診療所、介護老人保健施設、介護医療院、調剤を実施する薬局、助産所）をいいますが、狭義においては、医師、歯科医師等が医療行為を行う施設である病院、診療所をさす場合もあります。本医療計画における「医療機関」は、狭義の医療機関である、病院および診療所としています。
	医療的ケア児	医学の進歩を背景として、NICU等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な障がい児のことをいいます。
	医療ネットみえ	さまざまな病気や専門外来、所在地等、目的に合った県内の医療機関をホームページで探すことができる医療情報システムです。また、医療機関がパソコンから入力した診療の可否についての情報（応需情報）に基づき、受診可能な医療機関を24時間365日案内しています。
	医療保護入院	精神障がい者で、医療および保護のために入院を要すると精神保健指定医によって診断された場合、本人の同意がなくても家族等の同意により精神科病院に入院となることをいいます。
	インスリン	膵臓から分泌されるホルモンで、血糖を下げる働きがあります。
	インターフェロン	ウイルスの感染を受けた時などに体内で作られる蛋白質の一種です。人工的に生産したインターフェロンを体外から注射により補うのが、インターフェロン治療です。インターフェロン治療は、肝炎ウイルスの増殖を抑え、肝炎ウイルスを破壊する効果があります。
	院内がん登録	病院において、がん医療の状況を適確に把握するため、当該病院におけるがん患者の詳細な治療の状況を含む情報を収集し、院内がん登録データベースに記録および保存する仕組みです。

院内助産	緊急時の対応ができる医療機関において、正常経過の妊産婦のケアおよび助産を助産師が自立して行うものです。
インフォーマルサービス	公的機関や専門職による制度に基づく要介護者等に対するサービスや支援以外の援助をいいます。具体的には、家族、近隣住民、ボランティアなどの制度に基づかない援助などが挙げられます。
インフォームド・コンセント	患者が医療行為等の内容について医師等から十分な説明を受け納得した上で、自由意思に基づいてその医療行為（治療、投薬、手術等）を行うかどうかについて合意する制度のことです。
エジンバラ産後うつ病自己質問票（EPDS）	産後のうつ病のスクリーニングを行うため考案された10項目からなる自己記入式質問票です。（The Edinburgh Postnatal Depression Scale の略）
往診	医師が患者の家に行き診察することで、患者の求めに応じて臨時で行う場合をいいます。
オーダーリングシステム	検査オーダー、処方、検査結果参照、医事会計等の作業指示をオンライン上で処理するシステムです。
<b>か</b>	
介護支援専門員（ケアマネジャー）	要介護者等が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門知識および技術を有する介護支援専門員証の交付を受けた人をいいます。介護保険制度で、要介護者または要支援者からの相談に応じるとともに、要介護者等がその心身の状況等に応じた適切なサービスを利用できるよう、市町村・サービス事業者・施設等との連絡調整を行います。
核酸アナログ製剤治療	B型肝炎ウイルスの増殖を抑制する経口薬で行う治療をいいます。核酸アナログ製剤はウイルス量を減らす作用が強く、また、副作用もインターフェロン治療と比較して少ないとされています。
カテーテル	血管や尿管などに挿入し、検査や治療を行うための医療用の管をいいます。中は空洞で柔らかく、薬の点滴や体液の排出などに使われます。
がん患者リハビリテーション料	がんやその治療により生じた疼痛、筋力低下等に対して、運動機能や生活機能の低下予防・改善を目的に、種々のリハビリテーションを行った場合に算定する診療報酬をいいます。
肝疾患診療連携拠点病院	肝疾患治療の中心的役割を果たすために都道府県が指定した病院をいいます。本県では、肝疾患診療連携拠点病院に三重大学医学部附属病院を指定しています。
感染症病床	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定する1類感染症、2類感染症、新感染症および新型インフルエンザ等感染症の患者を入院させるための病床をいいます。
カンファレンス	院内で実施する症例検討会（患者の治療方針等の検討会）をいいます。

危険ドラッグ	麻薬・覚醒剤・大麻等には指定されていませんが、妄想、幻覚、幻聴、精神への悪影響や意識障害等の悪影響をおこすおそれがある製品をいいます。
キャリアサポート制度	自治医科大学を卒業し義務年限を終了した医師などを県職員として採用し、過疎三法の指定区域内にある公立病院やへき地診療所などに派遣する制度です。(平成 17 (2005)～平成 21 (2009)年度までは、ドクタープール制度といました。)
救急医療情報システム	→ 医療ネットみえ
救急告示病院 (医療機関)	救急隊により搬送される傷病者に関する医療を担当するため、「救急病院等を定める省令 (昭和 39 年 2 月 20 日厚生省令第 8 号)」に基づき、県知事の認定を受けた医療機関をいいます。
急性期	病気を発症し始めの時期で、症状の比較的激しい時期をいいます。また、災害医療においては、発災直後の医療資源と医療需要のバランスが崩れた時期をいいます。
救命救急センター	急性心筋梗塞や脳卒中、重度の外傷・熱傷等の複数の診療科にわたる重篤な救急患者を、24 時間体制で受け入れる三次救急医療施設をいいます。
教育入院	その疾患をより深く理解し、日常生活における注意やケアを自らできるよう、教育を行うことを目的とした入院をいいます。
緊急時訪問看護加算	介護保険において、利用者またはその家族等から電話等により看護に関する意見を求められた場合に常時対応できる体制にある事業所において、当該体制にある旨を説明し、利用者の同意を得た場合に加算するものをいいます。
緊急措置入院	「精神保健福祉法」に基づき「入院させなければ精神障害のために自身を傷つけ又は他人を害するおそれが著しい」と精神保健指定医が認めた場合に、県知事または指定都市の市長が精神科病院等に 72 時間に限り入院させることをいいます。
均てん化	全国どこでも標準的な専門医療を受けられるよう、医療技術等の格差の是正を図ることをいいます。
グループホーム	認知症高齢者や障がい者などが、専門スタッフの支援を受けながら、小規模住宅で少人数の共同生活を行う住まいのことをいいます。
ケアマネジャー	→ 介護支援専門員
経口ブドウ糖負荷試験 (OGTT)	糖尿病の診断方法の一つで、糖尿病が疑われる患者に対し、短時間に一定量のブドウ糖水溶液を飲んでもらい、一定時間経過後の血糖値の値から、糖尿病を診断する方法です。
結核患者収容モデル病床	結核患者の高齢化等に伴って複雑化する、高度な合併症を有する結核患者または入院を要する精神障がい者である結核患者に対して、医療上の必要性から、一般病床または精神病床において収容治療するためのより適切な基準を策定するためにモデル事業として行うものをいいます。
結核病床	結核の患者を入院させるための病床をいいます。

血漿分画製剤	血漿中に含まれる血液凝固因子、タンパク質を抽出して精製したものをいいます。使用目的に応じて、アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤、血液凝固因子製剤などがあります。
検案	医師が死体に対し、死亡を確認し、死因、死因の種類、死亡時刻、異状死との鑑別を総合的に判断することをいいます。検案の結果、異状死の疑いがある場合は警察に連絡し、検視を行うこととなります。
健康増進法	国民の健康の増進に関する法律です。国民の健康の増進の総合的な推進に関し基本的な事項を定めるとともに、国民の栄養の改善、その他の国民の健康の増進を図るための措置を講じ、もって国民保健の向上を図ることを目的として平成 15 年に施行されました。
健康日本 21	「健康増進法」に基づき、厚生労働大臣が策定した「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針（平成 15 年厚生労働省告示第 195 号）」のことで、国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向や国民の健康の増進の目標に関する事項等を定めたものです。平成 24（2012）年に全部改正（「健康日本 21（第 2 次）」）されました。
検視	変死者または変死の疑いのある死体について、その死亡が犯罪によるものかどうかを調べることをいいます。
原疾患	もともとある病気のことをいいます。
後期臨床研修	初期臨床研修を修了した医師を対象とする臨床研修です。専門分野の医療技術・知識を修得する目的で行われます。
合計特殊出生率	15～49 歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女性がその年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当します。
高病原性鳥インフルエンザ	鳥類のインフルエンザは「鳥インフルエンザ」と呼ばれており、ヒトのインフルエンザウイルスとは別の A 型インフルエンザウイルスの感染症のことで、感染した鳥が死亡したり、全身症状を発症したりと、特に強い病原性を示すものをいいます。
コーディネート	「調整」を意味し、本医療計画では主に、患者と医療従事者等の関係者の間に立って、連絡調整等を行うことをいいます。
災害医療コーディネーター	災害時において医療・救護活動が円滑に行われるよう、内部・外部の調整を行う人のことで、主な役割として医療救護班の配置調整等があります。阪神・淡路大震災の教訓を経て、兵庫県で全国に先駆け設置され、全国に導入が進められています。
災害医療支援病院	災害拠点病院の機能の補完や支援を目的として指定しています。
災害拠点精神科病院	災害時においても、医療保護入院、措置入院等の精神科医療を行うための診療機能や D P A T 派遣機能を有するほか、患者の一時的避難に対応できる場所（体育館等）や重症な精神疾患を有する患者に対応可能な保護室を有し、災害時における精神科医療を提供する上での中心的な役割を担う病院です。

さ

災害拠点病院	災害時に災害医療圏域で災害医療の中心的な役割を担う医療機関として、各圏域に1施設以上を設置しています。
災害支援ナース	日本看護協会の災害支援ネットワークシステムに基づき、三重県看護協会に登録し、看護職能団体の一員として被災地に派遣される看護職員です。
災害時小児・周産期リエゾン	災害時に、搬送が必要な小児・妊産婦の情報を収集し、被災地内の適切な医療機関への搬送をコーディネートするとともに、全国のリエゾンと連携し、被災地外への搬送方法、受入体制の情報を収集することにより、新生児や妊産婦に対して医療を継続するための適切な搬送をコーディネートする役割を担います。
在宅人工呼吸指導管理料	人工呼吸を行っている入院中の患者以外の患者に対して、在宅人工呼吸に関する指導管理を行った場合に算定します。
在宅当番医制	主に入院治療の必要がなく、帰宅可能な患者への対応を病院や診療所が輪番で行う制度をいいます。
在宅療養支援診療所	在宅医療を支えるために24時間往診・訪問看護等ができる診療所をいいます。
在宅療養支援病院	在宅医療を支えるために24時間往診・訪問看護等ができ、200床未満または半径4km以内に診療所がない地域に存する病院をいいます。
産科オープンシステム・セミオープンシステム	分娩時に開業医が病院の施設を使用できるようにしたシステムで、ハイリスク妊娠に対するより安全な体制確保のために創設されました。
三次救急	二次救急では対応できない重篤な患者に対する高度な救急医療をいいます。
歯科診療所	診療所のうち歯科医業を行うものをいいます。
自助グループ	慢性疾病、依存症、被虐待体験など、何らかの生活課題や問題を抱えた人や家族(当事者)などが、相互に支え合い、その問題などを解決しようとするグループのことをいいます。
持続感染	ウイルスに感染してから、自己免疫によりウイルスが排除されず感染が6か月以上続く感染をいいます。B型やC型肝炎ウイルスの場合、長期間持続感染すると、一部の人々に慢性の肝臓病が発症します。
自治医科大学義務年限	自治医科大学の卒業生が医師免許を取得後、県が指定するへき地医療機関等に義務的に勤務する期間のことで、在学年数の1.5倍の期間とされています。
自閉症・発達障害支援センター	発達障がい児(者)への支援を総合的に行うことを目的とした専門的機関で、発達障がい児(者)とその家族が豊かな地域生活を送れるように、保健、医療、福祉、教育、労働などの関係機関と連携し、地域における総合的な支援ネットワークを構築しながら、相談支援を行う機関のことをいいます。
集学的治療	手術療法・放射線療法・薬物療法・免疫療法など複数の治療法を組み合わせる治療をいいます。

周産期死亡率	出産千あたりの年間周産期死亡（妊娠満 22 週以後の死産数に早期新生児死亡を加えたもの）数をいいます。
出産	出生と死産を合わせたものをいいます。
受動喫煙	他人の喫煙より生じた副流煙（喫煙者が吸い込む主流煙に対してたばこの先から出る煙）、呼出煙（喫煙者が吐き出した煙）により、有害物質を含む煙に曝露され、それを吸入することです。
巡回診療	巡回診療（巡回診療において行われる予防接種も含む。）は、その実施の方法に種々の態様のものがみられますが、いずれも一定地点において公衆または特定多数人に対して診療が行われるものとされています。
障害保健福祉圏域	障害福祉計画で各都道府県が定める圏域で、市町村だけでは対応困難な各種のサービスを面的・計画的に整備することにより広域的なサービス提供網を築くために決めるものです。三重県では、桑員、四日市、鈴鹿・亀山、津、松阪、伊勢志摩、伊賀、尾鷲、熊野の 9 つの圏域が設定されています。
上行大動脈	大動脈のうち、左心室の大動脈口（半月弁のあるところ）から上行して腕頭動脈の基部にいたる部分をいいます。
初期臨床研修	平成 16（2004）年度に見直された新臨床研修制度で、医師および歯科医師国家試験合格後の 2 年以上の臨床研修をいいます。
助産師外来	医療機関等において、外来で正常経過の妊産婦の健康診査と保健指導を助産師が自立して行うものです。
助産師出向支援導入事業	都道府県において助産師出向システムの導入を促進することを目的に、平成 27（2015）年度に新設された厚生労働省の補助事業です。
助産師出向システム	助産師の偏在解消、助産実践能力の強化等を目的として、現在の勤務先の身分を有しながら他施設で助産師として働くシステムです。
「女性が働きやすい医療機関」認証制度	女性の医療従事者が働きやすい職場環境づくりの促進を図るため、平成 27（2015）年度に全国で初めて三重県が創設した認証制度をいいます。妊娠時・子育て時の当直免除、短時間勤務に係る制度整備や保育施設の整備など、勤務環境の改善に積極的に取り組んでいる医療機関を県が認証します。
自立支援医療（精神通院医療）	精神疾患により、通院による精神医療を継続して受ける必要がある患者を対象に、通院のための医療費の自己負担を軽減する制度です。
人工透析	腎臓の機能を代替する装置を用いて、血液を体外に導いて老廃物を除き、ナトリウムやカリウムなどを補給して体内に戻す医療行為をいいます。
新生児死亡率	出生千あたりの生後 4 週未満の死亡数をいいます。
新生児聴覚スクリーニング検査	難聴の早期発見と診断、療育につなげるための、新生児期に行われるきこえの簡易検査です。

新専門医制度	各学会が専門医を認定する従来の制度に替わり、一般社団法人日本専門医機構が認定した専門医プログラムによって専門医を認定する新たな制度として、平成 30 (2018) 年 4 月から実施されます。専門医として認定されるには、3～5 年程度の専門研修プログラムを修了し、試験に合格する必要があります。
心臓リハビリテーション指導士	特定非営利活動法人日本心臓リハビリテーション学会認定の資格で、心臓手術等の進歩による早期離床・早期退院に伴い、運動療法・食事療法・禁煙指導など包括的なリハビリテーションを行うことで再発予防をめざす専門職種です。
身体合併症	精神疾患に併せ、心臓疾患など身体疾患の治療が必要である状態のことをいいます。
心大血管疾患リハビリテーション料	心機能の回復や再発防止等を図るため、運動処方に基づき運動療法を行った場合に算定できる診療点数をいいます。
心肺蘇生法	呼吸や心臓が停止またはそれに近い状態にある傷病者に対して心肺機能を補助するために行う救命処置で、状態を確認しながら、人工呼吸、心臓マッサージ等を行います。
診療所	医師または歯科医師が、医業または歯科医業を行う施設で、19 床以下の入院設備（有床の場合）を備えるものをいいます。
診療報酬	保険医療機関等が行った保険医療サービスに対する対価として保険から受け取る報酬をいいます。診療報酬は点数であらわれ、1 点は 10 円です。
新臨床研修制度	平成 16 (2004) 年 4 月から医師免許取得後、医師法に基づく 2 年以上の臨床研修（いわゆる初期臨床研修）を受けなければならないとする制度です。
スーパー救急病棟	→ 精神科救急入院料届出病棟
ステージ	がんの進行段階（病期）を「ステージ」といい、病期のステージは数字が大きいほど進行したがんをあらわします。
ステントグラフト	金属製の骨組みに支えられたグラフト（人工血管）を、周辺組織を外科的に切開することなく、動脈瘤の長さの範囲内に留置し、弱くなった血管壁を内側から補強し、動脈瘤が破裂するのを防ぎます。
スピリチュアル	一般に「霊的な、魂の」と訳されます。患者が直面する「スピリチュアルな苦痛」は、多くの場合、生きている意味や目的についての関心や懸念と関連するとされています。
精神科救急入院料届出病棟	急性期の精神疾患患者について、早期に治療を行い、早期に地域に戻ることを目的とした病棟のことをいいます。
精神病床	病院の病床のうち、精神疾患を有する者を入院させるための病床をいいます。
セカンドオピニオン	患者が検査や治療を受けるにあたって主治医以外の医師に求めた意見、または意見を求める行為をいいます。
専攻医	新専門医制度において、専門医研修プログラムに登録し、専門医の取得に向けて研修中の医師をいいます。

全国がん登録	日本でがんと診断された全ての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する仕組みです。居住地域に関わらず全国どこの医療機関で診断を受けても、がんと診断された人のデータは国のデータベースで一元管理されるようになります。
臓器移植コーディネーター	臓器移植が公平・迅速に行われるために必要なさまざまな業務を24時間体制でサポートする人です。移植希望者や臓器提供情報の管理から社会（病院等の施設も含む）への臓器移植に関する普及啓発活動まで、移植に関わる多くの実務を行います。
早期新生児死亡率	出生数千あたりの生後7日未満の新生児の死亡数をいいます。
総合周産期母子医療センター	母体・胎児集中治療室（MFICU）を6床以上、新生児集中治療室（NICU）を9床以上有するなど、相当規模の産科病棟や新生児病棟を備え、常時の母体および新生児搬送受入体制を有して、合併症妊娠、重症妊娠高血圧症候群、切迫早産、胎児・新生児異常等、母体または子どもにおけるリスクの高い妊娠に対する医療、高度な新生児医療等の周産期医療を行える医療施設をいいます。
総合診療医	日常的に頻度が高く、幅広い領域の疾病と傷害等について、適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズをふまえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、人びとの命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応できる医師をいいます。
増殖前網膜症	糖尿病により、血管が詰まって、網膜の一部に血液が流れていない虚血部分が生じてきた段階をいいます。そのまま放置すれば次の増殖網膜症に進行します。
増殖網膜症	糖尿病により、網膜に虚血部分が生じた部分に酸素や栄養を何とか送り込もうと、新しい血管（新生血管）が伸びてくる段階をいいます。新生血管はもろいので出血しやすく、視力に大きな影響を与えます。
措置入院	「精神保健福祉法」において「入院させなければ精神障がいのために自身を傷つけ、または他人に害を及ぼすおそれがあることが明らかである」と、2人の精神保健指定医の診察が一致した場合、知事または指定都市の市長が精神科病院等に入院させることをいいます。
<b>た</b>	
ターミナルケア	治すことが難しい病気にかかり末期状態にある患者で、余生を自分らしく過ごしたいと希望する患者・家族の希望に沿って、必要な治療・処置などを支援することをいいます。
第一種・第二種感染症指定医療機関	第一種感染症指定医療機関は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において、1類感染症、2類感染症または、新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当する医療機関として県知事が指定した病院をいいます。（県内で1か所2床を指定しています。） 第二種感染症指定医療機関は、同法律において、2類感染症または、新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当させる医療機関として県知事が指定した病院をいいます。（県内で7か所22床を指定しています。）



代診医	医療機関に勤務する医師が研修・休暇等で勤務地を一時的に離れる場合に、臨時で代替勤務をする医師のことです。
多剤耐性	何種類かの抗生物質が効かない性質をもつことをいいます。
地域移行、地域定着支援	精神科病院に長期的に入院している患者などに対し、退院し地域で生活することを支援することを地域移行支援といい、地域での生活を持続的に行えるように支援することを地域定着支援といいます。
地域医療連携推進法人	医療機関等を開設する法人等が、業務の連携を推進することを目的に設立した一般社団法人で、都道府県知事から医療連携推進の認定を受けた法人をいいます。複数の医療機関等が法人に参画することにより、競争よりも協調を進め、地域における質が高く効率的な医療提供体制の確保につなげます。
地域医療枠	卒業後一定期間、三重県内で医療・医学領域に貢献する意志のある志望者を対象とした三重大学医学部医学科の入学枠をいいます。
地域がん登録	対象地域（主に都道府県単位）の居住者に発生した全てのがんを把握することにより、がんの罹患率と地域レベルの生存率を計測する仕組みです。
地域周産期母子医療センター	産科および小児科（新生児医療を担当するもの）等を備え、周産期に係る比較的高度な医療を行うことができる医療施設をいいます。
地域定着支援	→ 地域移行、地域定着支援
地域包括ケアシステム	団塊の世代が75歳以上となる平成37（2025）年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域において構築を推進する包括的な支援・サービス提供体制をいいます。
地域包括支援センター	介護保険法で定められた、高齢者等の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関のことをいいます。
地域連携クリティカルパス	急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるような診療計画（クリティカルパス）を作成し、治療を受ける全ての医療機関で共有して用いるものをいいます。
地域枠A・B	本県出身者を対象とした三重大学医学部医学科の推薦入学枠をいいます。なお、地域枠Bは、県内の医師不足地域の出身者を対象としています。
治療抵抗性統合失調症治療薬	統合失調症の症状により長期の入院生活を余儀なくされたり、地域での生活に重度の支障が生じている疾患を「治療抵抗性統合失調症」といいますが、これらの状態に対して、個人差はあるものの、効果が認められる薬のことをいいます。
低出生体重児出生率	出生数に対する出生時の体重が2,500グラム未満の新生児の割合をいいます。

テスラ	磁力の単位で、数字が大きいほど磁力線が密集し、磁力が強いことを意味します。磁力が大きいMRIほど画質の高い画像が得られます。
電子カルテシステム	紙のカルテを電子的なシステムに置き換え、電子情報として編集・管理し、データベースに記録する仕組みをいいます。
統合失調症圏	統合失調症や妄想性障害、統合失調感情障害などの統合失調症に似たような症状を呈する疾患群のことです。
糖尿病神経障害	高血糖の状態が長く続くことで、足や手の末梢神経に障がいがあり、手足のしびれや筋力の低下等のさまざまな症状を引き起こす疾患をいいます。
糖尿病腎症	高血糖の状態が長く続くことで、腎臓の糸球体の毛細血管に障がいがあり、徐々に尿が作れなくなる疾患をいいます。
糖尿病性腎症重症化予防プログラム	糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関の未受診者・受診中断者に受診勧奨、保健指導を行い治療につなげるとともに、通院患者のうち、重症化するリスクの高い人に対して主治医の判断で対象者を選定して保健指導を行い、人工透析等への移行を防止することを目的として、行政や保険者、医療関係者等とが協力・連携して行う取組の考え方や具体的取組例を示すものです。
糖尿病足病変	高血糖の状態が長く続くことで、足の神経障害や血流障害により、潰瘍や壊疽が起こった状態をいいます。
糖尿病網膜症	高血糖の状態が長く続くことで、眼の底にある網膜の血管に障がいがあり、視力の低下を招き、最悪の場合は失明の原因となる疾患をいいます。
糖尿病療養指導士	糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識を持ち、医師の指示のもと、患者に療養指導を行うことのできる、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士をいいます。
糖尿病連携手帳	日本糖尿病協会が発行し、糖尿病患者に配布されている血糖値やHbA1cなどの情報を記録することができる自己管理ツールです。また、医療スタッフが手帳に所見やコメントを記入することで、患者を中心とした医療連携を図るツールとしても活用されます。
ドクターヘリ	医療機器を装備し、救急医療の専門医・看護師が搭乗した専用ヘリコプターをいいます。
特定機能病院	最先端医療を提供する病院として厚生労働大臣の承認を受けた病院で、高度の医療技術や設備を備え、高度医療技術の開発・評価、高度医療に関する研修を行っている病院です。
特定給食施設	特定かつ多数の人に対して継続的に食事を供給する施設のうち栄養管理が必要なもので、1回100食以上または1日250食以上の食事を提供する施設です。
特定健康診査	平成20(2008)年4月から保険者(国民健康保険、被用者保険)に義務づけられた、40～74歳の被保険者・被扶養者を対象とした健康診査をいいます。

特定行為研修	医師等の判断を待たずに手順書により一定の診療の補助を行う看護師の養成を目的として、特に必要とされる高度かつ専門的な知識および技術の向上を図るための研修です。
特定不妊治療	不妊治療の一種で、体外受精（卵子を体外に取り出し、精子と接触させ、受精した卵を子宮内に戻す方法）および顕微授精（体外受精と同様に体外に取り出した卵に対し、顕微鏡で観察しつつ精子を直接注入する方法）をいいます。
特定保健指導	特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して、保健師、管理栄養士などが行う生活習慣を見直すための支援のことをいいます。発症リスクに応じ、「動機付け支援」や「積極的支援」などの方法で行います。
都道府県協議会	新専門医制度において、地域医療に影響を与えていないかどうか確認するため、都道府県、市町村、医師会、大学、病院団体等からなる地域の関係者が協議する場をいいます。本県では、三重県地域医療支援センター運営協議会の下に設置する「キャリア形成支援専門部会」を「都道府県協議会」としています。
<b>な</b>	
ナースセンター	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、都道府県ごとに1つに限り知事が指定するものです。看護職員の無料職業紹介、再就業支援、潜在看護職員の把握や看護に関する普及事業等を行います。
ナースバンク	都道府県ナースセンターが実施する看護職員の無料職業紹介事業です。求人求職登録および職業紹介や就業相談等を行います。
二次救急	入院や手術が必要であり、おおむね救急医療圏内での治療が可能なレベルの医療をいいます。
二次障害	発達障がいや知的障がいなどにおいて、障がいによる苦手さに周囲の人が気づかないことなどから、不適切な行動をとってしまうことなどで、二次的に生じてしまう障がいのことをいいます。
24時間対応体制加算	医療保険において、電話等により看護に関する意見を求められた場合に常時対応でき、緊急時の訪問看護を必要に応じて行える体制にあり、利用者の同意を得てその体制を実施した場合に算定します。
24時間連絡体制加算	医療保険において、電話等により看護に関する意見を求められた場合に常時対応でき、利用者の同意を得てその体制を実施した場合に算定します。
乳児	生後0日から満1歳未満までの子をいいます。
任意入院	「精神保健福祉法」において、精神障がい者自らの意志で、精神科病院へ入院する形態のことをいいます。
妊産婦死亡率	出産10万あたりの妊娠中または妊娠終了後満42日未満の女性の死亡数をいいます。

は

認知症サポート医	認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師をいいます。
年齢調整死亡率	年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整し、そろえた死亡率をいいます。
年齢調整受療率	年齢構成の異なる地域間で受療状況の比較ができるように年齢構成を調整し、そろえた受療率をいいます。
年齢調整罹患率	年齢構成の異なる地域間で罹患状況の比較ができるように年齢構成を調整し、そろえた罹患率をいいます。
廃用性症候群	過度に安静にすることや、活動性が低下したことにより身体に生じたさまざまな状態をさします。
パディ・ホスピタル・システム	本県における都市部の医療機関から医師不足地域の医療機関に医師を派遣する制度をいいます。
バリアフリー	障がい者や高齢者等の社会生活弱者が、社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障がいや、精神的な障壁を取り除くための施策、もしくは具体的に障がいを取り除いたものおよび状態をいいます。
ピアサポーター	悩んでいる人と同じ体験をもち支援する仲間をいいます。思春期特有の悩みを相談できる同世代の仲間や、精神障がいに関する体験や思いを同じ精神障がいを持つ人達に伝え、共有することで支援する、精神に障がいのある当事者等があります。
非ST上昇型心筋梗塞	心筋の壁の表面だけが壊死している心筋梗塞の軽いものをいいます。
光凝固療法	破れやすい新生血管網を、レーザー光によって凝固させることで安定させる治療法です。
ヒヤリ・ハット	突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハットとしたりするもので事故一步手前の事例をいいます。現場ではヒヤリ・ハットの情報を公開させ、蓄積、共有することで、重大な労働災害の発生を未然に防止する活動が行われています。
病院	医師または歯科医師が、医業または歯科医業を行う施設で、20床以上の入院設備を備えるものをいいます。
病院群輪番制	中核的な病院が曜日などで交替して患者を受け入れる制度をいいます。
標準登録様式	院内がん登録をそれぞれ異なる方法で実施すると、他施設と比較して各病院の診療の特徴を把握することができないため、国立がん研究センターは登録項目や手順等を定めた標準的登録様式を示しています。なお、厚生労働大臣が定める指針でも、院内がん登録は標準登録様式に準拠して実施することとされており、がん診療連携拠点病院等では、この標準化された登録様式で院内がん登録を実施しています。

病診連携	病院と診療所が連携して医療を提供する体制をいいます。
病病連携	病院同士が連携して医療を提供する体制をいいます。
日和見感染	免疫力が低下したときにかかる、さまざまな感染症や病気のことをいいます。
不育症	妊娠はするけれど、流産や死産あるいは早期新生児死亡（生後7日未満で新生児が死亡すること）を繰り返し、結果的に子どもを持っていない場合をいいます。
プッシュ型支援	被災した自治体からの要請を待たずに、必要不可欠と見込まれる物資を調達し、被災地に緊急輸送する支援方法です。一方、被災した自治体からの要請に応じて必要な物資を調達し、被災地に供給する支援方法を「プル型支援」といいます。
プライマリ・ケア	身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療のことです。（一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会）
プレホスピタル・ケア	病院に到着するまでに傷病者に対して救急救命士が行う救急救命処置、救急現場での住民による応急手当等をいいます。
へき地医療機関	へき地にある病院および診療所（へき地診療所を含む）をいいます。
へき地医療拠点病院	無医地区および無医地区に準じる地区を対象として、へき地医療支援機構の指導・調整のもとに、巡回診療、へき地診療所等への代診医派遣などの医療活動を継続的に実施できると認められる病院をいい、知事が指定します。
へき地医療支援機構	国の「第9次へき地保健医療計画」に基づき各県に設置することが求められている機関で、本県では平成15（2003）年度より、「三重県へき地医療支援機構」を県健康福祉部に設置し、専任担当官（へき地での勤務経験を有する医師）を配置してへき地医療対策の各種事業を円滑かつ効果的に実施しています。
へき地診療所	原則として人口1,000人以上の無医地区等において、住民の医療確保のため市町等が開設する診療所をいいます。
訪問看護	看護師等が居宅を訪問して、療養上の世話または必要な診療の援助を行うことをいいます。
訪問診療	医師が定期的に患者の家を訪問して診察し、健康管理を行うことをいいます。
母子保健推進員	市町の委嘱により、母子保健事業（乳幼児健診・相談・各種教室、見守り訪問など）に協力することで、住民が安心して妊娠・出産・育児ができるよう、家庭と行政の架け橋となって活動する人のことです。
ま	
マッチング	臨床研修を受けようとする者（医学生等）の研修希望と、臨床研修を行う病院（研修病院）側の希望をふまえて、組み合わせを決定することをいいます。

マルチスライスCT	放射線を用いて、臓器の立体的な画像を撮影する装置をいいます。
慢性期	病気の急性期を過ぎて、症状・徴候は激しくないものの、治癒することが困難な状態が長期間にわたって持続する時期をいいます。
三重県医師修学資金貸与制度	県内の地域医療を支える若手医師の育成・確保を目的として、医学生を対象に修学資金を貸与する制度です。卒後に県内の救急告示病院等に勤務することで返還免除となります。
三重県医療勤務環境改善支援センター	「医療法」に基づき、医療従事者の勤務環境改善に係る拠点機能の確保を目的として、都道府県が設置に努めなければならないとされた組織をいいます。本県では、平成26(2014)年8月に全国で3番目に設置しました。
三重県献血推進連絡会	本県では、献血協力者の安定的な確保のため、若年層に対する献血の啓発、複数回献血者の確保、献血に協力する企業数の拡大等に向け、より一層効果的な献血の啓発などに取り組んでいます。こうした取組を県全体で組織的に推進するための、市町の血液行政担当者やボランティア団体など献血活動に携わる関係者が、情報交換および協議を行う場として設置された連絡会です。
三重県新生児ドクターカー(すくすく号)	ドクターカーとは、医師が医療機器等を搭載した車両に同乗して救命処置を行いながら医療機関へ搬送できる救急自動車をいいます。 すくすく号は、本県で運用されている新生児のドクターカーのことで、国立病院機構三重中央医療センターに整備され、広域をカバーしています。
三重県専門研修医研修資金貸与制度	指定専門研修(三重大学や県内中核病院などが作成した専門研修プログラムのうち、知事が指定した研修プログラム)を受けている卒後おおむね10年以内の医師を対象に、県内の地域医療を支える勤務医や指導医の育成および確保を目的として研修資金を貸与する制度をいいます。研修修了後、貸与期間の1.5倍の期間を県内の救急告示病院等に勤務することで返還免除となります。
三重県地域医療研修センター(METCH)	医学生・研修医に対して、地域医療に関する実践的な研修を提供し、将来的に地域医療を担う医師を育成するため、平成21(2009)年4月に三重県が紀南病院内に開設した研修センターです。 ※METCH: Mie Education and Training Center for Community Health の略。
三重県地域医療支援センター	平成24(2012)年5月、県内の医師の地域偏在の解消等を目的に、県庁内に設置し、あわせて分室を三重大学内に設置しました。県内の医療機関や医師会、市町、三重大学等と連携して、若手医師のキャリア形成支援と医師不足病院における医師確保支援を一体的に行う仕組みづくり等の取組を進めています。

三重県臨床研修医研修資金貸与制度	県内の病院に勤務する初期臨床研修医を対象に、県内の地域医療を支える若手医師の育成・確保を目的として研修資金を貸与する制度をいいます。研修修了後、3年間を県内の救急告示病院等に勤務することで返還免除となります。
みえ子ども医療ダイヤル（#8000）	子どもの急な病気や事故、薬に関する心配について、毎日午後7時30分から翌朝8時まで、医療関係の専門相談員が電話相談に応じる事業です。
三重専門医研修プログラム（後期臨床研修プログラム）	平成25（2013）年度に三重県地域医療支援センターが作成した後期臨床研修プログラムで、中核病院と医師不足病院をローテーションしながら専門資格が取得できます。
三重大学医学部医学・看護学教育センター	三重大学における医学部の学生を対象に、学生教育（企画調査、学生支援、国際交流、地域医療教育など）を担当するセクションです。
無医地区に準じる地区	無医地区には該当しないが、知事が厚生労働大臣に協議を行い、これに準じた医療の確保が必要と認めた地区をいいます。
無医地区・無歯科医地区	厚生労働省の定義によるもので、医療機関のない地域で当該地区の中心的な場所を起点としておおむね半径4kmの区域内に50人以上が居住している地域であって、かつ容易に医療機関を利用することができない地区をいいます。
無歯科医地区に準じる地区	無歯科医地区には該当しないが、知事が厚生労働大臣に協議を行い、これに準じた医療の確保が必要と認めた地区をいいます。
メタボリックシンドローム	内臓に脂肪が蓄積した肥満（内臓脂肪型肥満）に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上をあわせ持った状態をいいます。
メディカルコントロール体制	救急救命士等が行う救急救命処置等の活動を医師の指示のもとで行うとともに、その処置内容等に関して、医師等による事後検証を行うことにより質の向上を図っていく体制のことをいいます。
免許保持者の届出制度	免許を持ちながら看護師等の仕事に就いていない場合に、氏名や連絡先などを都道府県ナースセンターに届け出るものです。潜在看護師等を含めた離職中の看護師等の復職支援を図ることを目的としています。
メンタルケア	精神面での援助・介護のことです。
ユニバーサルデザイン	ユニバーサル＝普遍的な、全体の、という言葉が示しているように、「全ての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無などに関わらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすることをいいます。
幼児死亡率	幼児（1歳から4歳）人口千あたりの幼児の死亡数をいいます。

や

ら

ライフステージ	人間の一生において、年齢に伴って変化する段階（幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期など）のことをいいます。
リハビリテーション	狭義には、病気や外傷が原因で心身の機能と構造の障がい、生活上の支障が生じたときに、専門職により行われる機能回復訓練をいいます。また、単なる機能回復ではなく、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」をめざした総合的な治療的訓練や援助を指します。
流出率（流出患者割合）	当該地域内に居住する推計患者数のうち、当該地域外の医療機関で診療を受けた患者の割合です。
流入率（流入患者割合）	当該地域内の医療機関で診療を受けた推計患者数のうち、当該地域外に居住する患者の割合です。
療育	障がい児の社会的自立をめざした医療と教育をいいます。
療養病床	長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病床です。
臨床研修病院	診療に従事しようとする医師が、医師免許取得後受けることとなる臨床研修において、基本的な診療能力を身につけるための研修を提供することができる、厚生労働省の指定を受けた病院です。
輪番病院	→ 病院群輪番制
レスパイトケア	乳幼児や障がい児（者）、高齢者などを在宅でケアしている家族を癒やすため、施設への短期入所等により一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービスです。
レセプト	診療（調剤）報酬明細書のことで、患者が受けた診療に対して医療機関が保険者に請求する明細書のことで、診療内容や処方した薬の費用等が記載されています。
レセプト電算処理システム	保険医療機関または保険薬局が、電子レセプトをオンラインまたは電子媒体により審査支払機関に提出し、審査支払機関において、受付、審査および請求支払業務を行い、保険者が受け取る仕組みです。
老人福祉圏域	介護保険事業支援計画・高齢者福祉計画において、介護給付費等対象サービスの種類ごとの量の見込みを定めるために都道府県が設定する単位（圏域）をいいます。本県では、二次医療圏と同じ圏域を設定しています。

A

ADL	Activities of Daily Living（日常生活動作）の略で、日常生活を営む上で、普通に行っている行為、行動のことです。具体的には、食事や排泄、整容、移動、入浴等、基本的な行動をいいます。
-----	---



A E D	Automated External Defibrillator (自動体外式除細動器) の略で、必要に応じて自動的に電気ショック (除細動) を与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器です。
<b>B</b>	
B C P	Business Continuity Planning の略で、災害などリスクが発生したときに重要業務が中断しないように、目標復旧時間内に重要な機能を再開させ、業務中断に伴うリスクを最低限にし、平時から事業継続について戦略的に準備しておく計画です。
<b>C</b>	
C A B G	Coronary Artery Bypass Graft (冠動脈バイパス術) の略で、血管の狭窄・閉塞した部分に血流の迂回路をつくる治療法のことです。
C C U	Cardiac Care Unit (心臓内科系集中治療室) の略で、狭心症や心筋梗塞など心臓血管系の重症患者を対象とする、特殊な集中治療室です。
C R T	Cardiac Resynchronization Therapy (心臓再同期療法) の略で、重症心不全に対して、ペースメーカーを使って心臓のポンプ機能の改善を図る治療方法です。
C T	Computed Tomography (コンピューター断層撮影) の略で、X線管球が身体の周りを回転して、360° 方向から収集された情報を集め、その情報をコンピュータ解析し、身体のあらゆる部位の輪切りの画像を作り出す技術です。
<b>D</b>	
D M A T	Disaster Medical Assistance Team (災害医療派遣チーム) の略で、大震災および航空機・列車事故といった災害時に被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チームのことです。
D O T S	Directly Observed Treatment Short-course (直接監視下短期化学療法) の略で、結核患者を発見し治すために世界中で使われている、プライマリー保護サービスの包括的戦略の名前です。看護師や保健師等が助言し、薬を患者が飲み込むのを直接確認し、そして患者が治癒するまで支援します。
D P A T	Disaster Psychiatric Assistance Team (災害精神医療派遣チーム) の略で、大規模災害などで被災した精神科病院の患者への対応や、被災者の P T S D (Post-traumatic Stress Disorder) をはじめとする精神疾患発症の予防などを支援する専門チームのことです。
D P C	Diagnosis Procedure Combination (包括評価制度) の略で、平成 15 年に導入された、急性期入院医療を対象とした診療報酬の包括評価制度である。
Drip and Ship	遠隔診療を用いる等によって、脳卒中に精通した医師の指示下に t-PA 療法を開始した上で、血管内治療が可能な施設を含む、より専門的な診療が可能な施設に、脳梗塞患者を搬送することをいいます。

<b>E</b>	EMIS	Emergency Medical Information System (広域災害救急医療情報システム) の略で、被災した都道府県を越えて医療機関の稼働状況、医師・看護師等の医療従事者の状況、ライフラインの確保、災害医療に係る総合的な情報を共有するためのシステムです。
	EPDS	→ エジンバラ産後うつ病自己質問票
<b>G</b>	GCU	Growing Care Unit の略で、新生児治療回復室と訳されます。出生時・出産後に生じた問題が解決・改善した新生児の経過を観察する施設です。
<b>H</b>	HACCP	Hazard Analysis and Critical Control Point (危害分析重要管理点) の略で、食品の原料の受入れから製造・出荷までの全ての工程において、危害の発生を防止するための重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生管理手法です。
	HbA1c	赤血球の蛋白であるヘモグロビンとブドウ糖が結合したグリコヘモグロビンのうち、糖尿病と密接な関係を有するものをいいます。患者の過去1～2か月の平均血糖値を反映する指標であり、血糖コントロールの指標として用いられます。
	HIV	Human Immunodeficiency Virus (ヒト免疫不全ウイルス) の略で、人の免疫力を低下させ、後天性免疫不全症候群を引き起こすウイルスです。
<b>I</b>	IABP	Intra Aortic Balloon Pumping (大動脈内バルーンパンピング法) の略で、患者の大動脈内にバルーンカテーテルを挿入し、心臓の拍動に合わせてバルーンを収縮・拡張させることで心臓の働きを補助する治療法です。
	IADL	Instrumental Activities of Daily Living (手段的日常生活動作) の略で、日常生活を送る上で必要な動作のうち、ADLより複雑で高次の動作をいいます。例えば、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどです。
	ICT	Information and Communication Technology (情報通信技術) の略で、情報・通信に関連する技術一般の総称です。
<b>J</b>	JMAT	日本医師会により組織される災害医療チームで、被災地の支援に入り、現地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支えるための組織です。

**M**

MFICU	Maternal-Fetal Intensive Care Unit (母体・胎児集中治療室)の略で、前置胎盤や重い妊娠高血圧症候群など、リスクの高い母体・胎児に対応するための設備を備えた治療室です。
MMC 卒後臨床研修センター	臨床研修医や指導医、臨床研修病院等を対象として、臨床研修を円滑に行うための事業を実施することを目的に、県内の関係医療機関が共同で設立したNPO法人です。 ※MMC : Mie Medical Complex の略。
MMCプログラム	県内の16の初期臨床研修病院における、それぞれの特徴を活かした臨床研修プログラムのことをいいます。すべての初期臨床研修病院は、互いに連携しており、臨床研修医は自由選択の期間に約200科の研修枠からMMCプログラムによる研修を受けることができます。
MRI	Magnetic Resonance Imaging system (磁気共鳴画像装置)の略で、磁気と電磁波および水素原子の動きを利用して、体の断面を撮影する装置、またはそれを用いた検査を指します。
MRアンギオグラフィ	MRIを使って、磁気を利用して血管を画像化する方法です。

**N**

NCD	National Clinical Data Base の略で、専門医制度と連動して外科手術症例をデータベース化したものです。
NDB	National Data Base の略で、厚生労働省が全国のレセプト情報等をデータベース化したものです。利用にあたっては、個人等が特定されないよう、一定のルールがあります。
NGSP値	HbA1cの検査および表記手法の一つです。平成24(2012)年度以降は原則として、国際的に広く用いられているNGSP値(国際標準値)が使用されます。従来使用していたJDS値より約0.4ポイント高くなります。
NICU	Neonatal Intensive Care Unit (新生児集中治療室)の略で、早産などによる低体重児や先天性の重い病気を持つ新生児を受け入れ、専門医療を24時間体制で行う治療室をいいます。

**O**

OGTT	Oral Glucose Tolerance Test の略。→ 経口ブドウ糖負荷試験
------	---

**P**

PCI	Percutaneous Coronary Intervention (経皮的冠動脈形成術)の略で、「カテーテル」と呼ばれる細長い管を心臓の血管(冠動脈)まで挿入し、狭くなった冠動脈の血管を内側から拡げる治療法です。
PET	Positron Emission Tomography (陽電子放出断層撮影)の略で、放射線を出す検査薬を注射し、その薬が発する放射線等特殊なカメラを使って外部から検出し画像化する装置です。

	P E T - C T	診断の精度を向上させるためにPETとCTを組み合わせた装置です。
<b>Q</b>	Q O L	Quality of Life (生活の質) の略で、人間らしく、満足して生活しているかを評価する概念です。
<b>S</b>	S C U	Stroke Care Unit (脳卒中集中治療室) の略で、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)急性期の患者を、専門医療スタッフがチームを組んで計画的に診療を行う治療室です。
	S C U	Staging Care Unit (広域搬送拠点臨時医療施設) の略で、広域搬送拠点に搬送された患者を被災地域外へ搬送するにあたり、長時間の搬送に要する処置等を行う臨時医療施設のことです。
	S P E C T	Single Photon Emission Computed Tomography (単光子放射線コンピュータ断層撮影) の略で、体内に注入したR I (放射性同位元素) の分布状況を断層画面で見る装置をいいます。脳血管障害や心疾患の検査に用います。
	S T D	Sexually Transmitted Diseases (性感染症) の略で、性的接触によって感染する病気をいいます。
	S T 上昇型心筋梗塞	心電図波形のS Tと呼ばれる部分が上昇し、心室の壁をつくっている心筋が壊死していると判断されるものをいいます。
<b>T</b>	t-P A	血栓(血の塊)を溶かす薬(血栓溶解薬)です。脳の血管が詰まり、重い後遺症や死に至るおそれがある脳梗塞(こうそく)の治療に用いられます。
<b>U</b>	U I C C	Union for International Cancer Control (国際対がん連合) の略で、民間の対がん運動組織です。国際対がん連合では、がんの進行度を判定する基準を定めています。